

論文テーマ

CN（カーボンニュートラル）の実現化に向けて

論文の主旨

なぜ、自社で CN を目指す必要があるのか？ その質問に対するヒントは、顧客などの利害関係者からの貴社への要望から得られる。

各社が CN 実現するために何をするか、どのように推進するかを決めるための視点には5つある。

- (1)気候変動からのリスク評価-“チャンス攻める”と“リスクから守る”
- (2)CO2 排出量算定-空間と時間軸
- (3)CO2 削減計画策定-バックキャスティング【未来から現在へ】とカイゼン【過去の延長線の未来】
- (4)CO2 削減方法決定-財務指標と非財務指標
- (5)CO2 削減方法決定-サービス化とモノの循環

利害関係者のニーズにより CN 実現の自社にとっての必然性を探し出し、(1)の視点で、気候変動がもたらす自社にとってのビジネスチャンスとリスクを把握して、(2)では、自社の CO₂ など温室効果ガスの排出量算定方法を選ぶ。(3)により温室効果ガス排出量削減の目標をどう設定するかを決める。(4)で、持続的に経営を続けていくために、目標達成の手段を選ぶ際の指標を決める。(5)により、リサイクル活動に加え、製造業は CO₂ を大幅に減らすために、サービス化を進めることも検討する。

CN 活動を継続するためには、従来企業が行ってきたマネジメントシステムを活用する。例えば、ISO14001 などを運用している組織は、その仕組みを活かして、カーボンニュートラルを導入する。

発表者の紹介

氏 名	梶 川 達 也 中産連 主席コンサルタント エネルギー管理士
専 門 分 野	温室効果ガス排出量算定・削減、省エネ診断、LCA、MFCA（原材料ロス削減による CO ₂ 排出量削減）コンサルティングなど
コンサルティング歴	自動車部品製造業、産業機械製造業、廃棄物処理業、教育などのサービス業を中心に多数の企業の省エネ・CO ₂ 削減を支援